

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 飛騨センター設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課 文化施設係 電話番号：058-272-1111(内3123)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 136,146 千円 (前年度予算額：67,901 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	67,901	0	0	0	0	0	0	61,100	6,801
要求額	136,146	0	0	0	0	0	0	0	136,146
決定額	94,732	0	0	0	0	0	0	85,200	9,532

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・常に室温管理が必要な場所にある個別空調は、設置から22年が経過していることから、部品交換による修繕が困難となっている。照明・音響設備、サーバー室に設置されており、故障した場合は施設運営に多大な支障を来すことになるため、更新が必要である。
- ・飛騨センターの舞台設備は、全て設置から22年が経過しており経年劣化がみられるが、飛騨芸術堂吊物機構のワイヤーロープ更新を除き、大規模な設備改修は行われていない。各制御装置は既に生産終了しており、故障した場合は機器調整等に長期間を要することになり、イベント開催や貸館等の施設運営に多大なる支障を来すことになるため、改修を実施する必要がある。
- ・非常時に電源を確保するために設置されているガスタービン非常用発電機は、設置後22年が経過しており、安定的な稼働のためにメーカー指定の定期的な点検及び修繕が必要である。
- ・湿度管理のための空調用熱源機器である蒸気ボイラーは、設置から22年が経過しており、劣化症状が確認されている。施設内の湿度を管理するために必要な設備であり、館内の空調を適切に維持するために、更新する必要がある。
- ・飛騨センターの照明設備は設置から22年が経過しており、経年劣化がみられる。施設運営を継続しつつ全面的にLED化するためには、現状把握や設置器具等の検討が必要となるため、事前に実施設計を行う必要がある。
- ・飛騨センターコンベンションホール棟は竣工から22年が経過し、防水・撥水機能の劣化が進んでいる。施設運営を継続しつつ改修するため、現状把握や工法等の検討が必要となるため、事前に実施設計を行う必要がある。

(2) 事業内容

- ・空調設備（個別空調）更新
- ・芸術堂舞台機構改修
- ・ガスタービン非常用発電機修繕
- ・空調機器熱源更新
- ・【設計】照明設備等改修工事
- ・【設計】コンベンションホール屋根・外壁改修工事

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

県民ふれあい会館設備改修事業費

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	97	【設計】照明設備等改修工事(委託料：5,394千円、旅費：71千円、消耗品費：5千円、燃料費：37千円、役務費：5千円) 【設計】コンベンションホール屋根・外壁改修工事 (委託料：5,548千円、旅費：26千円、消耗品費：1千円、燃料費：14千円、役務費：2千円)
需用費	57	
役務費	7	
委託料	10,942	
工事請負費	125,043	・空調設備（個別空調）更新 ・芸術堂舞台機構改修 ・ガスタービン非常用発電機修繕 ・空調機器熱源更新工事
合計	136,146	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。
財源には、県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

施設の計画的修繕に関して、施設の長寿命化計画を策定

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定している

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

指定管理者との協定に基づき県が実施すべきもののみを対象とする

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

空調設備（個別空調）の更新、芸術堂舞台機構の改修、ガスタービン非常用発電機の修繕、空調機器熱源の更新、照明設備等改修設計、コンベンションホール屋根・外壁改修設計を実施し、安定的なセンター運営を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

県有文化施設の修繕に要する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	飛騨・世界生活文化センター飛騨芸術堂外壁塗装等改修工事 飛騨・世界生活文化センター非常用発電機エンジン修繕工事 飛騨・世界生活文化センターベーパーライザー更新工事 飛騨・世界生活文化センター非常放送設備更新工事 施設の改修等を実施することにより、センター利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和3年度	飛騨・世界生活文化センター加圧給水ポンプユニット更新工事 飛騨・世界生活文化センター中央監視リモート盤更新工事 飛騨・世界生活文化センター冷却塔更新工事 飛騨・世界生活文化センター音響設備（ワイヤレス設備）更新工事 飛騨・世界生活文化センター電話設備更新工事 飛騨・世界生活文化センター舞台設備（吊物設備）改修工事 飛騨・世界生活文化センター非常照明・操作用蓄電池更新工事 施設の改修等を実施することにより、センター利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和4年度	飛騨・世界生活文化センター空調機器熱源更新工事 飛騨・世界生活文化センターミュージアム棟外壁改修工事 施設の改修等を実施することにより、センター利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	指定管理制度を導入するにあたり、県と指定管理者間で下記の取り決めを行っている。 ・施設の大規模改修については、県の負担とする。 ・施設の修繕及び備品の負担区分については、 修繕：60万円以上 備品：10万円以上 を県負担とする。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	計画的に修繕を実施することで、大規模な破損を防ぐことが出来るため、利用者の利便性向上のほか、結果的にコストの削減につながっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	指定管理者より修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位の聞き取り調査を行いながら、計画的に実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各種設備の経年劣化が進む中で、大規模改修が必要になってきている。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 設備の劣化状況を鑑み、計画的に修繕を実施していくほか、大規模改修については財政当局と協議をしながら、円滑な施設の維持管理を行っていく。
--